

教育課程論

教育 CURRICULUM 課程

大きな目線で、カリキュラムをつくれる人になろう。

#1 オリエンテーション, #2 教育課程の歴史

南浦涼介

①ある保護者からの疑問。

小学校の参観日。春の参観日の授業は「国語」。夏前のときも「国語」で、秋の参観日は「算数」だった。冬も「算数」。そういえばほとんどの学校で公開する授業は「国語」「算数」が多い。

でも私は「生活」とか「理科」とか「学級会」とかのほうが子どもたちの色々な様子が見られそう。なんでいつも「国語」「算数」なんだろう？ 他のもを見せてもよくない？

②ある学生からの疑問。

大学の授業だと、それぞれの授業の後にその授業ごとに試験。中高はそれとはあまり関係なく広範囲な「期末テスト」。小学校は授業内容とも関係なく『市販の業者が作ったテスト』。

大学と同じように、授業をした先生が授業のまとめりごとにテストした方がよくない？

②ブラジルから転校してきた子どもが多い小学校。6年生の社会科の授業で「古墳時代」をやっていると、子どもたちから疑問が。

「私たち、別に日本人でもないのにどうして『古墳』の勉強をしないといけないの？ 歴史を学ぶのはわかるけど、『古墳』じゃなくてよくない？」

広島大学に学びに来たばかりの留学生たちに
「広島」を知る合宿を企画します。
どのような合宿プランを考えますか？

グループに分かれて「2泊3日合宿プラン」を考える

- ①合宿プラン名
- ②合宿のプログラム内容
 - 〇〇で△△をする
- ③合宿のコンセプトを考える

広島大学に学びに来たばかりの留学生たちに
「広島」を知る合宿を企画します。
どのような合宿プランを考えますか？

広島のエライ人たちの声：これらの声を参考にしてコンセプトを具体化しましょう



留学生たちが自分たちで広島のいろいろなものに関わって、広島の一員になっていってもらえればいいなと思います。そのために、ぜひ、広島の色々なものや人を知って、そこに参加していってほしいと思っています。

将来、広島で活躍して行く可能性もある留学生でしょう。先端的な科学研究を広島で学んでほしいです。そうしたことを知るためのファーストステップとして、この合宿があればいいなと思います。



かつて広島は日本の五大都市の1つだったのですが、現在は経済的にも人口的にも福岡にも抜かれています。国際都市としても福岡になかなか勝てません。留学生の視点からぜひ、広島をよりよい国際都市にする提案をしていってほしいです。

留学生には留学生の興味関心があるわけですから、留学生が関心を持って社会を切り拓いていけることを期待しています。
そうしたステップに合宿が位置付くといいですね。



学び手の関心を中心

社会の側の期待を中心

適応する
(社会化する)

A

B

よりよくする
(主体化する)

C

D

- ①それぞれのグループで考えたものはどのタイプに近い？
- ②ほかのタイプだとどういう考え方ができそう？

学び手の関心を中心

社会の側の期待を中心

適応する
(社会化する)

その社会の秩序や習慣、考え方を教え、身につけていく

社会（生活）適応主義

子ども中心であるが、知性への向き合い方よりは態度形成を重視して、社会・生活への適応を重視する。

子ども中心主義

デューイの教育
子どもの関心をもとにしながら
子どもが知を練り上げていく

社会的効率主義

社会の中で貢献できることを主軸にして、「役に立つ」学問を合理的・効率的に学んでいくことを重視する

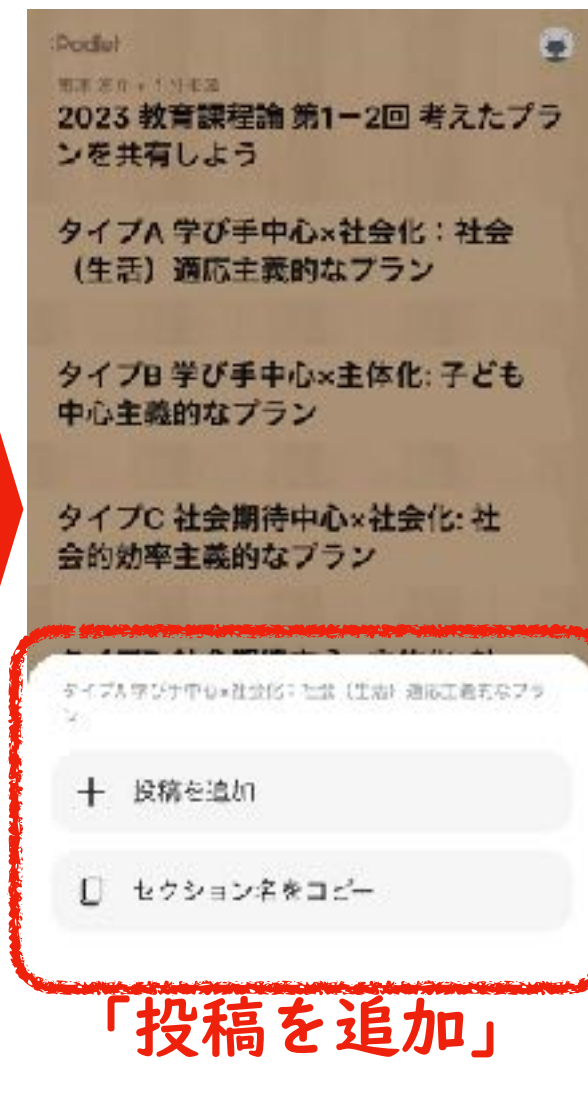
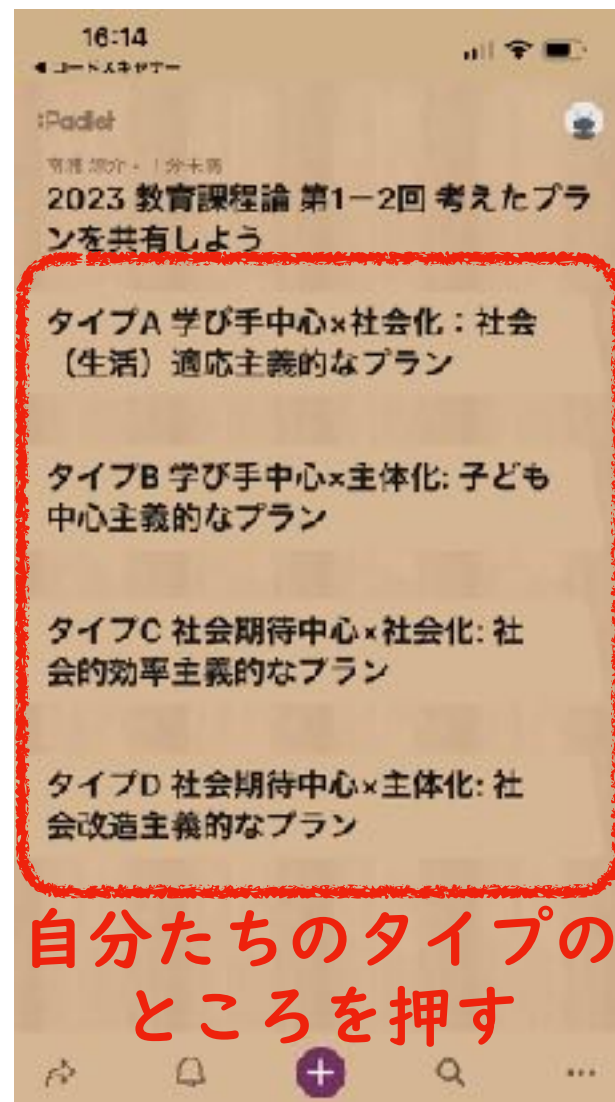
社会改造主義

社会をよりよいものに変えていくこと、社会変革のためのクリティカルな考え方の育成などを重視する。

広島大学に学びに来たばかりの留学生たちに
「広島」を知る合宿を企画します。
どのような合宿プランを考えますか？

Padletで共有する

Teamsの「01 第1-2回」チャンネル中の「授業で使うリンク場所」
から共有用ページ（Padlet）に移動し，投稿をする



みなさんの考えた「合宿プラン」の構成を説明しよう！

観点① その合宿プランには、どのような学びの要素がある？

活動の中には、「平和を知る」「経験を聞く」「交流をする」などのいくつかの学びの要素があるはず。どのような要素があるかを整理しよう

観点② その学びの要素は、なぜその順序で並べたのか？

①の要素は、合宿の1日目から3日目の中で、ある程度の意図を持って学びの順序が作られたはず。なぜその順序で合宿はあったのか。順序の発想を説明しよう。

命題① 「カリキュラムをつくる」ときには、2つの観点がある

- スコープ（教える要素：何を教えるか？）
- シーケンス（教える順序：どの順序で教えるか？）

Padletをみて、同じカテゴリ内ものの中で価値を話合ってみましょう

①同じ色だれど、具体の仕方が違うなと思うものを見つけてみましょう

②コメントを書き合ってみましょう

学び手の関心を中心

社会の側の期待を中心

適応する
(社会化する)

その社会の秩序や習慣、考え方を教え、身につけていく

社会（生活）適応主義

子ども中心であるが、知性への向き合い方よりは態度形成を重視して、社会・生活への適応を重視する。

子ども中心主義

デューイの教育
子どもの関心をもとにしながら子どもが知を練り上げていく

社会的効率主義

社会の中で貢献できることを主軸にして、「役に立つ」学問を合理的・効率的に学んでいくことを重視する

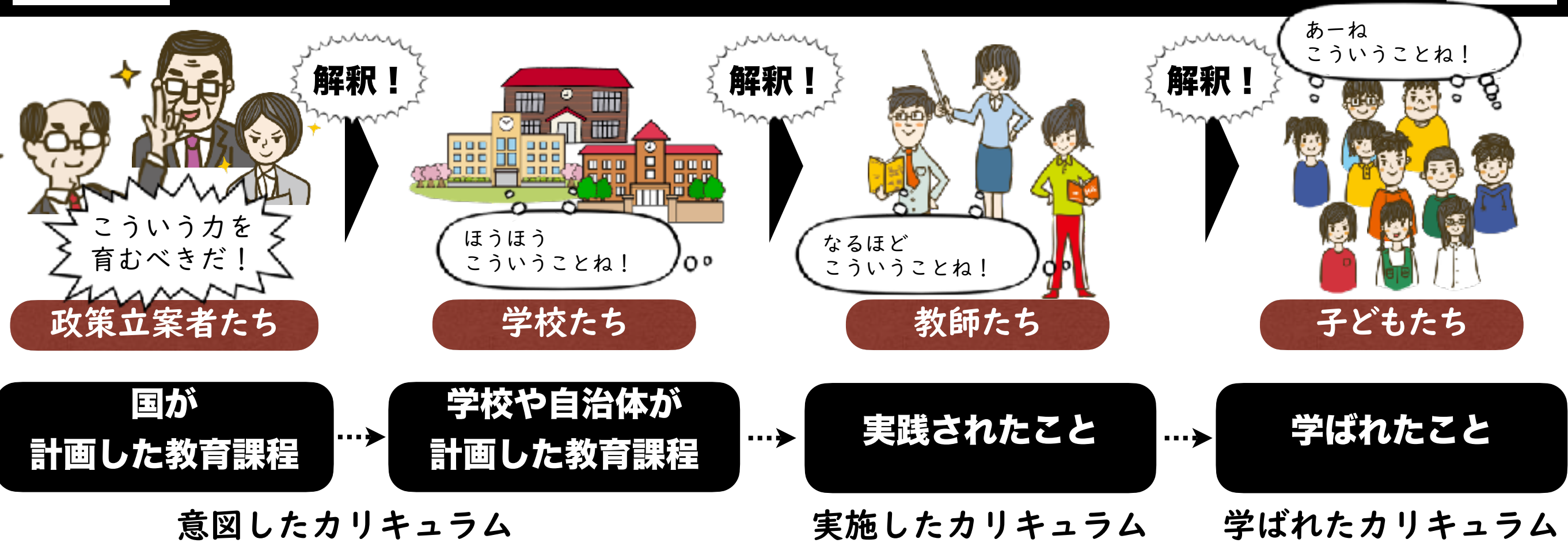
社会改造主義

社会をよりよいものに変えていくこと、社会変革のためのクリティカルな考え方の育成などを重視する。

よりよくする
(主体化する)

より強い「個」として考え、変えたり提案したりしていく

「教育課程」と「カリキュラム」 私たちは同じもので、同じことを学んできたのか？



同じ教育課程であっても、それは学校、教師、子どもたちの中でつねに「解釈」されていく
カリキュラム (Curriculum) はこれら全てをさした広い概念≠教育課程

- ① 「同じ単元」「同じテーマ」だったけれど、「私のクラスの先生」と「隣のクラスの先生」は同じことをしていただろうか？ 違っていた気がするだろうか？ 例えば？
- ② 「同じ授業を受けた」のに、クラスメイトの間で「違う受け止め方」をしていたことはなかっただろうか？ 例えば？
- ③ これらの「ズレ」はないほうがいいのだろうか？ 「ズレ」はあったほうがいいのだろうか？

「教育課程」と「カリキュラム」 私たちは同じもので、同じことを学んできたのか？



どっちなの？！
「ズレ」はないほうがいい？ 「ズレ」はあったほうがいい？

「公的な教育」が持つ「統一性と多様性」のジレンマ
教育をする人も、教育を受ける人も、色々な人がいる。だからこそどうする？

統一性を重視したい

違い＝格差
格差は埋めていくべきもの
すると多様な差異は認められにくい



多様性を重視したい

違い＝差異
差異は認めていくべきもの
すると格差が生まれやすい

命題① 「カリキュラムをつくる」ときには，2つの観点がある

- スコープ（教える要素：何を教えるか？）
- シーケンス（教える順序：どの順序で教えるか？）

命題② 「カリキュラム」には「社会の期待」が入り込む。

将来，社会の中核に学び手が入ったときに，どのような力を持ってどのような社会づくりを担える人になってほしいのか（適応する力なのか，変える力なのか）という視点が常に入り込む。

命題③ 「カリキュラム」は「学び手」から考えるもの「社会」から考えるもの，の双方がある。

命題④ 「カリキュラム」は「教育課程」だけではない

同じような発想のものであっても，教え手の解釈によって具体的な授業や活動は異なる。また，学び手はさらに同じもので学んでも「得たこと」は違う可能性がある。「ズレる」ことを私たちはどう捉えていくかは，要検討する必要がある（今後の学習課題でもある）。